

相談支援班からのおたよりです



令和5年6月6日発行

岩戸支援学校 支援連携グループ相談支援班

木々の緑が深まるなか、どこからともなくクチナシの花の香りがただよってきます。ふと目をやると、アジサイが様々な色を見せ始めていました。蒸し暑い日本の夏に、自然は爽やかなエッセンスを提供してくれます。梅雨入り間近なこの季節、皆さんはどのように過ごされますか？

LINEトラブルについて



気軽に友だちとつながり、話の出来るLINEですが、実は、対面で話すよりコミュニケーションをとることが難しいと言われていています。ちょっとしたすれちがいで様々なトラブルが発生しています。

「は？」とか「しらん」「WWW」「笑笑」……相手はその話に重要性を感じていないかもしれません。文面だけでは冷たく感じることや、逆になんでも言い過ぎてトラブルになったり、つい心無い言葉を発してしまったり……そんな経験ありませんか？

文面だけだからこそ、伝わらない部分をうまくおぎなう工夫が必要です。「とらえ方が何通りもできる文章にしないこと」や「自分の感情をより細かく伝えること」がトラブルを避けるための一つの手立てです。相手の考えがよくわからないときは聞き直したり、大事なことは直接話をしたり、LINEは最低限の話にしておくことです。



LINEの怖さ

- ◆「友だち追加機能」で見知らぬ相手と簡単につながってしまう。
- ◆フィルタリングがきかず、LINEから有害なサイトにつながることもある。
- ◆グループ内でのいじめの被害、または加害に巻き込まれることもある。
- ◆名前も知らない人（業者など）からコンタクトされることがある。
- ◆未成年にふさわしくない画像や動画にアクセスできてしまう。
- ◆個人情報を盗まれ、名前、住所、学校などが知られてしまうことがある。



より安全にLINEを使うために

◇「プロフィール」と「ひとこと」に個人情報をのせない。設定の必要はありません。

◇友だちの追加機能を制限する。

◇公式タイムラインへのコメントや「いいね」を控える。自分の名前やコメントが表示されたり、コメントした時間から生活サイクルを探られることもあります。

◇親子間での意識共有を！！



デジタルタトゥーの恐ろしさを知ろう

「デジタルタトゥー」とは、一度のせてしまったら完全に消し去ることが難しいネット上の書き込みや個人情報などのデータのことです。データは本人やサイト管理人が削除しない限り、永続的に残るだけでなく、拡散やスクリーンショットなどによって、のせた本人でさえも消せなくなることがあるのです。

軽い気持ちで、悪ふざけのつもりでも、炎上し、拡散し、誰かの人生、自分の人生を台無しにします。書いた本人は「後で消せば問題なし」と考えても、アカウント名が誰かにスクリーンショットされたり、通報により身元が特定されたりします。削除に莫大な時間と費用がかかることもあります。

情報を発信するときは「この情報が誰かを傷つけないか？」「情報が悪用されることはないか？」を考えましょう。

闇バイトの誘いにのってはいけません

高額バイト料をちらつかせ、振り込め詐欺の受け子や強盗をさせます。犯罪組織の手先として利用され、個人情報をにぎられ抜け出せなくなります。目先のお金に惑わされて、加害者、被害者にならないよう、誘いにのらないようにしましょう。

〈警視庁より〉

アルバイトを探るとき「高額」「即日現金」「高額即金」「副業」「ハンドキャリー」「書類を受け取りだけ」「行動確認」「現地調査」などの言葉に注意を。申込時に匿名性の高いアプリのインストールを求められる場合、闇バイトの可能性があります。あやしいと思ったら家族や警察に相談をしましょう。一度でもやってしまうと、応募の時に送った身分証明書から「家に行く」「家族に危害を与える」など、犯罪組織から脅され、自分が逮捕されるまでやめることができません。逮捕されれば懲役刑や被害者への損害賠償など、得たバイト代をはるかに超えるデメリットが待っています。犯罪グループは助けてくれません。闇バイトは使い捨てです！

(出典:警視庁公式ホームページ #BAN闇バイト)